

活動が広がる宝物！

北海道といえばやっぱり『雪』だべさ

札幌市立緑丘小学校 東間 義孝

広い北海道の各地に共通していること。
それは…『雪や寒さ』です。この学習材
は、道内であればどの地域でも使えます。

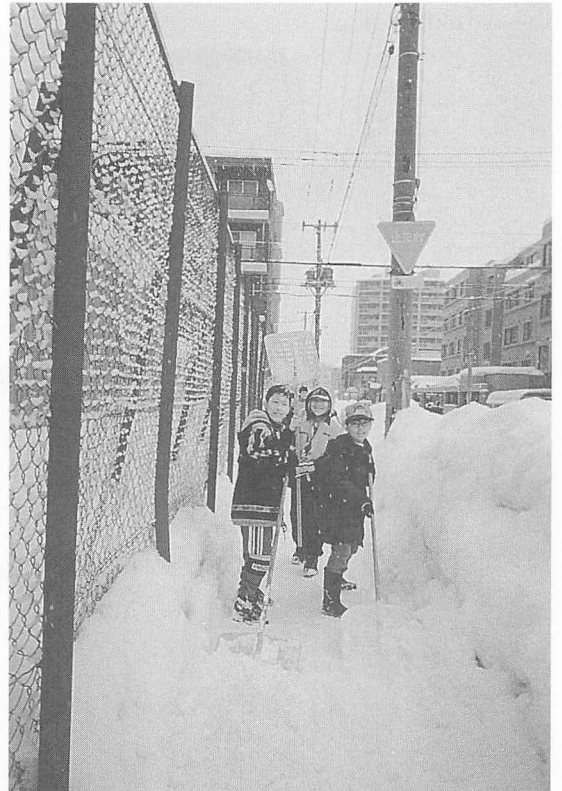
*北国の冬を閉ざし、やっかいもの
として扱われ、人々を重い雰囲気な
ものにしていた「雪」。

しかし今は、どの市町村も多額の
予算を計上し、大型機械を使って幹
線道路や通学路を除排雪している。

子供たちが朝登校するときには、
きれいに除雪された歩道を歩き、自
分たちで雪をかきながら登校するこ
となどほとんどない。また、マンシ
ョンに住む子も増え、家庭用の雪か
きすらない家庭の子も少くない。



雪かきを通して地域
の人々と心を通わす



こんな活動ができます

活動その1

◇まちにとび出そう！

豪雪の日でも、朝起きたら市街地の通学路は歩きやすく除雪してあります。しかし、一步仲小路に入ってみましょう。よく見回すと、横断歩道の左右に雪が山積みになっていたり、消火栓が少ししか顔を見せていなかったり、バス停に段差ができて滑って危ない様子等が、目に飛び込んできます。



不便なのは自分たちだけ？」。

ここで「お年寄りや小さい子にとって暮らしやすい街なのか」というフィルターを通してみると活動が広がってきます。

活動その2

◇自分たちからアプローチしよう

「自分たちができること」という意識をもった子供たちは、単に“除雪”するという活動だけにとどまらず、「〇〇さんのために除雪したい」という思いや願いに支えられた活動にふくらんでいきます。

～こんな活動に広がります～

お年寄りだけで 住まわれている お宅の前をきれ いにしたい	町内会 独居老人 調べ	歩道を きれいに 除雪	老人クラブ 施設前を 除雪	活動の 様子を 新聞で 紹介
--	-------------------	-------------------	---------------------	-------------------------

※地域のために汗をかく機会が少ない子供たち。地域の人々からの声に励まされ、活動意欲を増幅させていきます。